	日付	曜日	時間・形式	内容	概要
1	7月5日	日	13:00～16:00 （集合）	・地域で求められる薬剤師の役割 ・臨床推論（頭痛）	地域医療で求められる薬剤師の役割 ・地域包括ケアの概要と将来の予測像を理解し、通院中の患者の生活や退院後の生活を考慮したマネジメントを多職種で連携して行うための具体的なゴールイメージをつける ・薬剤師として地域に貢献するためのアプローチの多様さを理解できる
2	8月2日	日	13:00～16:00 オンライン （生配信）	・臨床推論（腹痛・動悸）	臨床推論 ・臨床決断に関する、医師の思考回路の基本的な部分を理解できる ・症候診断のアセスメントについて、最終判断は医師に任せるという前提で、自分にできそうな範囲から少しやってみようという気持ちになる ・アセスメントを対患者・対医師とのコミュニケーションに役立て、薬剤師としての臨床決断ができるようになる
3	8月30日	日	13:00～16:00 オンライン （生配信）	・臨床推論（風邪・胸痛）	
4	9月27日	日	13:00～16:00 オンライン （生配信）	人の心を動かすコミュニケーションスキル技法 ～医療コミュニケーションスキルをアップしよう～	コミュニケーションスキルの実践 ・医療面接における3つの役割※が理解できる ※「患者理解のための情報収集」「治療への動機づけ」「信頼関係の形成」 ・医療者が欲しい情報について、患者が話しやすいように聴く手法を実践できる ・解釈モデルを理解し、患者との適切なコミュニケーションが図れる
5	10月3日	土	14:00～16:30 予定 集合（筑波会場）	・臨床推論（しびれ） ・臨床推論（総合演習・SP面談） ・フィジカルアセスメント	臨床推論：総合演習 ・臨床推論の考え方をベースに、実際の対話に表現することができる ・対話を通じたアセスメントの結果、医師への情報伝達方法のポイントを理解できる ・実際の薬局のカウンターや病棟での患者との対話において実践的に活用するイメージをつける フィジカルアセスメント ・正しい血圧の測り方、聴診器の使い方、心音や呼吸音の異常を知ることで、対面業務や在宅医療などに活用できる
6	10月4日	日	9:00～13:00 予定 集合（筑波会場）		
7	10月18日	日	13:00～16:30 オンライン （生配信）	減らすだけが正解じゃない！ 患者中心の処方提案で挑むポリファーマシー	ポリファーマシー ・ポリファーマシーの発生機序を理解し、改善のためのアプローチ法を学ぶ ・実際の症例などを元にポリファーマシー解消へのアクションを検討する
8	11月1日	日	13:00～16:00 オンライン （生配信）	検査所見の見方・考え方	検査所見 ・検査所見の解釈に関する基本的な考え方が修得できる ・検査所見の解釈を通して、疾患の病態生理が理解できる ・検査所見の解釈を通して、医師が行っている診断・治療方針の決定プロセスが理解できる
9	11月8日	日	13:00～16:00 オンライン （生配信）	・臨床倫理	臨床倫理 ・臨床の現場の倫理的な問題を認識することができる ・倫理的な問題を共有・整理・分析し、解決を試みようとするための「臨床倫理4分割法」（①医学的適応、②患者の意向、③QOL、④周囲の状況）について理解できる
10	12月13日	日	13:00～16:00 オンライン （生配信）	・課題の抽出	学習した内容のプレゼン・まとめ ・Ph2030を受講して、地域で活躍できる薬剤師としての目標が明確になる ・他メンバーの発表を聴講し、各地域での薬剤師の活躍できるポイントを共有できる
11	12月14日 ｜ 3月20日	-	自主学習 ・ 実地研修	プログラム終了後の課題：受講者ごとに薬剤師業務へ活用 ・各々の地域において講座で学んだ内容の実践を継続 ・運営側が進捗確認	
12	3月21日	日		地域貢献した内容を最終発表	
13	8月～ ～3月31日	自主学習	e-learning 学習	・臨床推論：各15分×7症候【腰痛/呼吸困難/体重減少/便通異常〈便秘・下痢〉/嘔吐/浮腫/排尿障害】 ・糖尿病トータルマネジメント・ヘルスプロモーション・検診・行動変容・患者中心の医療と多職種連携	